

## NUFSA 留学生の家族のための日本語・日本事情コース

国際教育交流センターアドバイジング部門

坂 田 亜 紀

「NUFSA 留学生の家族のための日本語・日本事情コース」は、名古屋大学に在籍する留学生の家族を主な対象とした名古屋大学留学生会（NUFSA）主催のコースである。実際の運営については、国際教育交流センターアドバイジング部門が留学生の家族支援の一環として行なっている。4月からの春学期と10月からの秋学期に開講し、インターナショナルレジデンス東山の地下会議室にて火曜日と木曜日の週2日、1時間半の授業を2コマずつ行なっている。昭和62年（1987年）に開講したこのコースは、令和元年（2019年）度で33年目を迎えた。

今年度は前期19名、後期22名の受講生が在籍し、日本語学習初心者を対象とするクラス1から順にクラス4までの4つのクラスに分かれ、専門性と経験を備えた3名の教師のもとで学習した。授業の他にも開講式や会話練習セッション、冬の文化祭等の行事を実施し、アドバイジング部門は教師の方々と緊密な連携を図りながらコース運営の充実に努めた。新たな取り組みとしては、6月に災害対策室の専門家の方々にご協力いただき、防災セミナーを実施した。11月には複言語環境における子どもの言語教育のワークショップを開催した。また、名古屋大学留学生会の複数のメンバーの行事への参加があり、新たな交流の機会となった。

コースの運営資金は受講料の他に、名古屋大学留学生後援会からの補助金と名古屋栄ライオンズクラブからの寄付により成り立っている。名古屋栄ライオンズクラブからは平成6年（1994年）秋より継続的な支援を受けており、支援を受けた受講生の人数は今年度で延べ2,223名となった。開講式や会話練習セッション、冬の文化祭へも当クラブ会員を招待し、受講生との交流を深めていただいた。3月に予定していた2名の受講生によるクラブ例会でのスピーチは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため辞退させていただいたが、動画を撮影してお送りした。

コースには幼児を抱える受講生も在籍し、平成15年

（2003年）からは地域のボランティアグループ「ひろば」による託児サービスを行なっている。受講生が託児費を支払うとともに、留学生支援事業費「家族帯同留学生への支援」の一部として託児補助費を計上し、ボランティアの交通費相当の活動費を「ひろば」に支払った。ライオンズクラブ同様、「ひろば」のボランティアの方々も上記イベントに参加され、託児サービスの申し込みをしていない受講生とも積極的に交流していただいている。今年度は託児希望が少なく、また、受講生が連絡せず欠席ということもあったため、欠席の連絡方法を見直し、来年度に生かしたい。

近年受講生数の減少のため、来年度よりクラス編成を初級前半のクラス1とクラス2のみにすることとした。しかし日本語学習を必要とする家族のニーズは常にあり、家族帯同の留学生自身が学業や研究に力を注ぐためにも、大学としての家族支援の形を含めたコースの継続を検討していきたい。

---

### コース担当教師からの報告

このコースは、名古屋大学に在籍する留学生の家族を主な対象として、日本語指導をはじめ様々なサポートをする目的で1987年に開設された。受講生の国籍や文化背景、外国語習得経験等は様々であるが、その都度、クラス編成やカリキュラム進度の再考を行い、対応している。

2016年度からはFacebookで非公開グループを作り、受講生への授業連絡のみならず、日本語学習サイトの紹介や、季節の伝統行事・近隣情報等の発信を行うなど、SNSを積極的に活用してきた。今年度秋学期からは、教師がテキストの語彙リストを読み上げたものを、毎課の予習としてアップすることを試みた。耳からの語彙定着を図ったものであるが、いつでもどこでも予習が可能という手軽さもあり、受講生に好評で

あった。

また、このコースでは、冬の文化祭と会話セッションに名古屋栄ライオンズクラブや「ひろば」のメンバー、教師OBをお招きして交流を図っていただいているが、従来こうした場では、どうしても後半クラスの受講生が交流の中心となっていた。そこで今年度は、冬の文化祭で前半クラスの受講生にも国の料理紹介をしてもらい、学習の成果を発表する機会を設けた。また、留学生会のメンバーにもイベントに参加していただき、彼らが初心者レベルの受講生と参加者の橋渡しとなることで、どのレベルの受講生も交流を実感することができた。

コースのイベントや名古屋栄ライオンズクラブの例会では、主に4クラスの受講生がスピーチを行う。これもその様子を動画に録ってFacebook上にあげており、受講生の学習の大きなモチベーションとなっている。

今年度も関係各機関の方々に支えていただきながら無事終えることができた。今後も受講生が楽しく学べる場となるよう、創意工夫をこらしていきたい。

教師：岩崎陽子  
          邊見香苗  
          水野百々世